

1 あいさつ (多治見市教育委員会 渡辺教育長)

2 議事

(1) 報告 (事務局)

【平成27年度体力テストの結果】より

- 平成27年度の多治見市立幼稚園・保育園・小学校・中学校の体力テストにおける平均値の報告 (平成27年度の国体力・運動能力、運動習慣等調査の平均値等の分析がまだ公表されていないため、市内の平均値の報告のみを行った。)
- 過去5年間 (平成23年度～平成27年度) 多治見市立幼稚園・保育園・小学校・中学校の体力テストの各種目の経年変化の報告
- 平成23年度小5児童と平成26年度中2生徒 (同集団) の体力テストの全国平均との比較
- 全国平均を上回る種目が増えたことの要因についての分析の報告

全国平均を上回る種目が増えた要因		
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもの健康・体力向上推進委員会、体力向上主任会による、徹底した実態分析</li> <li>• 実態をもとにした「体力アッププラン」の作成と実践</li> </ul>		
幼稚園・保育園	小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 運動あそびの位置付け</li> <li>• 動きを体験させるしくみづくり (投げる動きの足運びマット作成、目標となる的作成)</li> <li>• 楽しく運動できる工夫</li> <li>• 保護者への情報提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 運動の時間の確保 (朝運動、ロング昼休み)</li> <li>• 体育の授業の工夫、改善 (全学級の授業に、体育の専科が入る)</li> <li>• たじみ技能スタンダード (縄跳び、水泳) の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 体育の授業の工夫、改善 (体力テストの分析結果を活かし、焦点化した指導)</li> <li>• ラジオ体操の指導の充実と、活動への位置付け</li> </ul>

【たじみ技能スタンダード (水泳)】より

- 市で統一の技能基準を設定して取り組んだことが、児童たちの目標や励みとなっている。
- 学校や学年によって、達成状況の伸びに違いはあるが、効果的に活用していただけているようすである。
- 指導の効果を上げている学校の実践を取材し、交流することで、取り組み方を共有できるようにしたい。

【「投げる」「握力」の取り組み】について（明和幼稚園の園内研での様子の紹介）

- 「投げる」活動を取り入れた遊びの設定（なかよし遊び・運動遊びの紹介）
- 「投げる」力を伸ばすことに力点を置いた保育による研究会

【意見交流】（今後の体力向上の方針のありかたについて）

- 多くの幼稚園・保育園で「投げる」運動を楽しくできるしくみづくりがされている。積極的に紹介し、情報を交流できるようにしたい。
- 全国平均との比較をして、それより市の平均が上回っているかどうかを見ることも大切だが、この取り組みを通して、できない子がどれだけ少なくなったのかを見ていきたい。平均値よりも、標準偏差を見るなどして、体力や運動能力の分布を見ていくようにしたい。
- 小学校では、週2回の朝運動を取り入れている。子どもの発達に合わせて「運動量」「運動の強さ」「動きの精度」を変化させることで、楽しく取り組める工夫をしている。
- 運動の取り組みでは、ダイナミックに動きができるよう、失敗してもいいように取り組ませたい。そのためにも全職員に理解をしてもらう必要がある。
- 握力計は、定期的に更新して、計測しないと、正しい測定ができない可能性がある。新年度に向けて、検討してもらいたい。
- 子どもたちが運動を楽しめるようにするためには、職員の意識や環境づくりが大切である。握力計がすぐに使えるところにあたり、先生が運動遊びに誘ったりして、運動すること、動くことのきっかけをつくることも効果がある。

(2) 運動あそびのアイデア集づくりについて（進捗状況の報告）

【意見交流】から

- 多治見市役所文化スポーツ課には、約60種類のレクスポーツの用具があり貸出ができる。幼児向けではないものも多いが、楽しく運動ができるようになるためのきっかけづくりとして活用してもらいたい。
- たいへんよいものができつつある。ステップアップをして難度や強度を変化させる書きぶりがよい。
- 上達や楽しさを味わうためのコツやツボを示すことで、より使いやすいものになる。
- 使いやすいアイデア集になるように、整理の仕方について検討が必要。年齢で区分けをするのか、運動の領域で区分けをするのか。
- 遊びや運動のねらいの視点がわかるようにできるとよい。
  - 目で見えて・・・する。
  - 音を聞いて・・・する。

- 運動の領域で整理するとよい。他学年対象の運動でも、一工夫することで、自分の担当学年でも使えるようになる。だから、領域で整理しておいた方が、活動の自由度が増す。
- どこで、どのように（場所や時間帯など）使うと効果的かを明記したい。
- 是非、幼稚園・保育園の取り組みも紹介したい。
- 枠のみ（白紙）のページも準備しておいて、新しく思いついたアイデアを加えていけるものだとよい。
- ファイリング形式にして、新しい運動や遊びは、ホームページからダウンロードして付け加えられるようにするとよい。

(3) 岐阜大学 春日先生より

- 多治見市のT G K 4 8の皆さんの姿から。この皆さんは、とっても体力のある人たちです。この人たちは、思い立って運動を始めた人たちというよりも、前から運動が好きな人たちであるように思う。いつまで運動から学ぶ姿勢をもっていることにすばらしさを感じる。
- 子どもの健康・体力向上推進の取り組みも、幼少期から運動することが好き、いつまでも運動から学びたい（もっと上手になりたいと思いつけて取り組める）という意識を育むことを大切にしたい。
- 一流運動や選手とつながる、一流の運動や選手に関心があるといった感覚をもたせたい。
- 運動遊びのアイデア集は、様々な学びや活動の応用ができるアイテムにできるとよい。

3 あいさつ（多治見市教育委員会 永治教育次長）

- 子どもの健康・体力向上推進を通して、多治見市の子どもをどう育てていくか、視点やねらいをはっきりさせて取りくみ続けていきたい。
- 指導する先生自身を楽しんでもらいたい。幼稚園・保育園の先生は、子どもたちと楽しそうに活動している。この姿からは学ぶものが多い。